

地域一体となった高付加価値化事業の種類・要件充足性の確認

当地域の応募申請する枠は、「地域一体型」です。

また、**類型**としては「1. 宿泊施設の高付加価値改修」、「2. 観光施設の改修」、「3. 廃屋の撤去」、「4. 公的施設の観光目的での利活用のための民間活力の導入」を選択します。

【重点審査項目・要件の充足性】

【I. 同一地域での面的な取組の推進】

武雄市が主体となって合11事業者(宿泊事業者5社・観光事業者3社、廃屋の撤去2社、公的施設1社)による地域一体となった面的な取組が形成出来ている。

“ととのうまち武雄”をコンセプトに掲げ、御船山楽園ホテル等の地域な主要な事業者を巻き込んだ座組を形成している。武雄市では、西九州新幹線の開通という機会を控え、かねてより新たな観光コンテンツの開拓を継続し、温泉地としての差別化を図っている。本事業においてもこれまでの地域の取組みと連動し、歴史と風格のある温泉地としての良さを残しつつ、新たな体験・癒しを提供する観光地への進化を目指す。

【II. 全体計画を実現するための個別事業の設定】

全参加事業者及び金融機関の合意を得られており、種々の協議を経て、現状課題・ビジョン・コンセプト・事業内容等に関して、一貫性のある地域計画と個別事業計画を作成している。

【III. 個別事業の事業性】

個別事業者の設備投資による収益改善計画は、武雄市及び金融機関により内容精査を行い、付加価値額及び地域裨益性の上昇が見込まれる計画となっていることを確認している。また、実現可能性、継続可能性が高まるように地域一体として取り組む座組が形成されている。

【IV. 賃金待遇の改善】

単なる施設投資にとどまらず、宿泊単価の向上、従業員の賃金や待遇の改善等の取組みが含まれている。

【V. 地域への裨益効果の提示】

新たな観光スタイル(サウナ、部屋風呂等)の取り入れをコンセプトがとして統一された高付加価値化改修に加え、観光客や地域住民が利用できるスペースの整備、観光施設の改修により、地域への裨益効果が十分含まれている。

【VI. 自治体による計画に連動する取組み】

当地域の第2期武雄市まち・ひと・仕事創生総合戦略など、自治体が策定した計画に連動した取組みになっている。

1. エリア名

佐賀県武雄市 武雄温泉

歴史ある温泉と焼きもの文化、自然、新しい観光コンテンツが調和した観光地

- **歴史ある温泉**：1300年の歴史がある「美人の湯」と称される武雄温泉や、国指定重要文化財である武雄温泉楼門を有する。
- **焼きもの文化**：1590年頃から継承され、「日本磁器のふるさと肥前」として「日本遺産」に認定されている。現在においても市内に90以上の窯元（飛龍窯は世界一の容積）を有する。
- **豊かな自然**：国天然記念物に指定された大楠や、日本庭園である慧洲園、御船山楽園等で四季の移ろいを観賞できる。
- **新たな観光コンテンツ開拓が継続**：民間事業者との連携を積極的に行い、武雄市図書館（TSUTAYAと連携）や、御船山楽園ホテル（チームラボと連携）は新たな観光名所となっている。



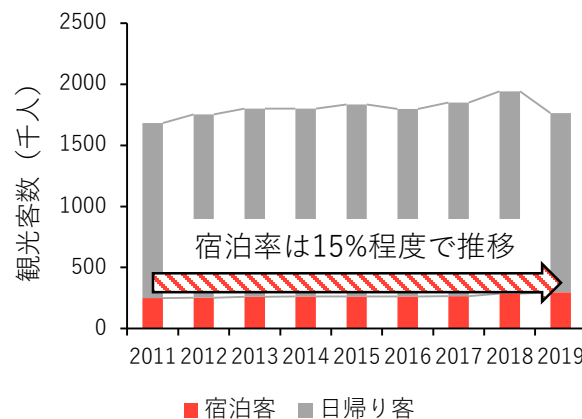
(1)武雄温泉楼門
 (2)武雄焼
 (3)大楠
 (4)武雄図書館
 (5)チームラボ主催イベント
 @御船山楽園ホテル

2. 地域を取り巻く状況や観光の動向などの現状把握

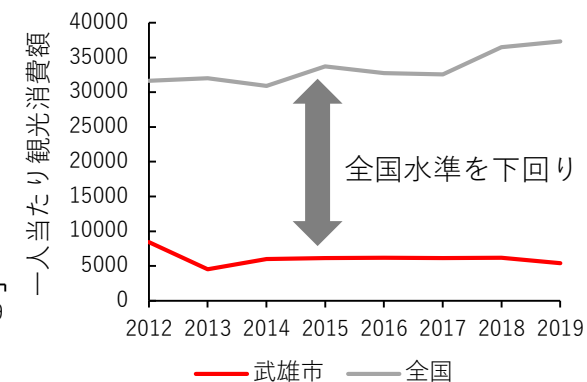
新幹線開業等の機会を捉えるべく、観光コンテンツの磨き上げ、宿泊客を獲得することが課題

2018年まで観光客は増加傾向の一方、宿泊率は15%程度、一人当たりの観光消費額は全国平均に比して低い水準で推移している。

- **西九州新幹線の開通等の交通網の変化が今後の入込客数に影響**：新幹線の開通と博多への特急の本数が2,3倍増になり、入込客の増加が期待される。新幹線開通区間内の長崎市や佐世保市、温泉地の嬉野市に宿泊客が流出する懸念もある。
- **日常生活からの解放や新たな体験へのニーズの高まり**：コロナ後の旅行のニーズとして日常生活からの解放や新たな体験へのニーズが高まっており※、武雄市としては温泉以外の観光コンテンツを磨き上げて回遊性・宿泊率を増加させていくことが必要である。（※JTBF旅行者調査）



(引用) 佐賀県観光客動態調査



(引用) 観光庁 観光白書・佐賀県観光客動態調査

3. 強み

強み①	歴史と風格のある温泉地
強み②	独自の魅力創造を目指す「それ、武雄が始めます。」のモットーの下、観光コンテンツの開拓に注力
強み③	西九州新幹線の開通に伴う武雄市へのアクセス改善と市内開発の高まり

① 歴史と風格のある温泉地

• 1300年の歴史を誇る温泉：

1300年前に書かれた「肥前風土記」の中に記載が残っており、古くは神功皇后、江戸時代には宮本武蔵、シーボルト、伊達政宗等も入浴されたとの記録も残る。

「美人の湯」とも称され、美肌をつくる良質な泉質としても有名である。武雄温泉の浴槽は、日本最古の温泉施設（明治9年建築）と言われている。関連施設の武雄温泉楼門は、東京駅の設計で有名な建築家辰野金吾が手掛けたシンボリックな朱塗りの建物で国の重要文化財に指定されている。

• 焼き物文化のまち：

1590年頃から続く焼き物文化が継承されており、「日本磁器のふるさと肥前」として「日本遺産」に認定されている。世界一の容積を誇る飛龍窯を筆頭に、現在においても市内に90以上の窯元を有しており、観光客が訪問することができる。陶器と磁器の両方の味わいを手に取り味わえる観光としてもめずらしいまちである。

• 四季の移ろいを観賞できる自然が豊富：

国天然記念物に指定された大楠や、国登録記念物である御船山楽園、日本庭園が有名な慧洲園等の自然豊かな観光施設を有している。

また、年間を通じて多くの自然を活かしたイベントが開催されており、四季の移ろいを鑑賞することができる。

(主な観光資源例)

温泉

- 1300年の歴史と「美人の湯」と称される良好な泉質
- 武雄温泉楼門は国指定重要文化財



武雄温泉



重要文化財の武雄温泉楼門

焼き物文化

- 1590年頃から継承され、現在においても市内に約90の窯元
- 日本磁器のふるさと肥前」として「日本遺産」に認定



武雄焼



容積世界一を誇る飛龍窯

自然

- 天然記念物の大楠や日本庭園
- 季節ごとにイベントを開催



四季の移ろいを鑑賞可能な豊かな自然

② 独自の魅力創造を目指す「それ、武雄が始めます。」のモットーの下、観光コンテンツの開拓に注力

・ 民間事業者と連携した観光名所・イベント：

TSUTAYAと連携して運営している武雄市図書館、チームラボと御船山楽園とが連携したアート展“神様がすまう森”は新たな観光名所として有名である。また、ゲームソフト大手のスクウェア・エニックスと連携した街歩き等のイベントを開催している他、ハウステンボスと連携した周遊バスツアー等も検討している。

・ “癒し”を提供する観光施設：

保養村エリアを中心としたキャンプや、サウナテントの貸出利用の整備、アウトヨガ等の“癒し”を提供する観光コンテンツにも注力している。

サウナにおいては、サウナミシュランで3年連続1位を獲得した“らかんの湯”を有している。森の自然と溶け込むデザイン、内装の工夫だけでなくサウナ環境の中に喫茶室付休憩室があり、御船山楽園の自然の景色を楽しむことができる。季節を感じリラックスできるアイデアが仕込まれている。

・ いで湯と陶芸の町としての特性を生かした、街歩き・体験型コンテンツ：

韓国を発祥とする自然と街並みを楽しみながらめぐる“オルレ”の日本初のコースとして「九州オルレ武雄コース」が認定されている。また、武雄焼をつかったアクセサリ体験等の体験型コンテンツが全36種類整備されている。

・ 武雄市独自の食材：

佐賀県としてではなく武雄市ならではの食材として、レモングラスや佐賀大学と共同開発した高オレイン酸大豆があり、関連する土産品等の開発を継続している。お土産だけでなく地域一体での活用に取り組んでいる。



(取り組み例)

<p>民間事業者との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> 武雄市図書館 (TSUTAYA) アート展“神様がすまう森” (チームラボ) 街歩きイベント (スクウェア・エニックス) 周遊バスツアー (ハウステンボス) 等 <p>“神様がすまう森” (2019年度 38万人来場)</p>   <p>スクウェアフェニックスとのコラボ企画</p>
<p>癒し</p>	<ul style="list-style-type: none"> サウナミシュランで1位を獲得した“らかんの湯” 保養村でのキャンプ・アウトドア事業 等 <p>“らかんの湯”はサウナミシュランで3年連続で1位を獲得</p>   <p>テントサウナの貸出</p>
<p>街歩き/体験</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日本初のオルレコース「九州オルレ武雄コース」 陶片アクセサリ体験 等 <p>“オルレ”では保養村等の自然から市内に存在する窯元、武雄温泉までを街歩き</p>   <p>陶片アクセサリ</p>
<p>食</p>	<ul style="list-style-type: none"> 独自開発の“高オレイン酸大豆” レモングラス (ハーブ) 等 <p>“高オレイン酸大豆”は、通常の大豆の4倍の含有量</p>  

③ 西九州新幹線の開通に伴う武雄市へのアクセス改善と市内開発の高まり

• 交通網の改善による入込客数の増加が期待：

西九州新幹線の開通により、長崎や佐世保市等からも1時間以内で来訪が可能となる。加えて、武雄・博多間の特急が2倍増となり、アクセス改善による入込客数の増加が期待される。

• 武雄市内の開発や宿泊/観光施設の新設が進行：

新幹線開業を控え、武雄駅周辺の整備事業が進行している。加えて、宿泊施設や観光施設の新設も進行しており、観光地としての賑わいが上昇している。

(次項に補足を掲載)

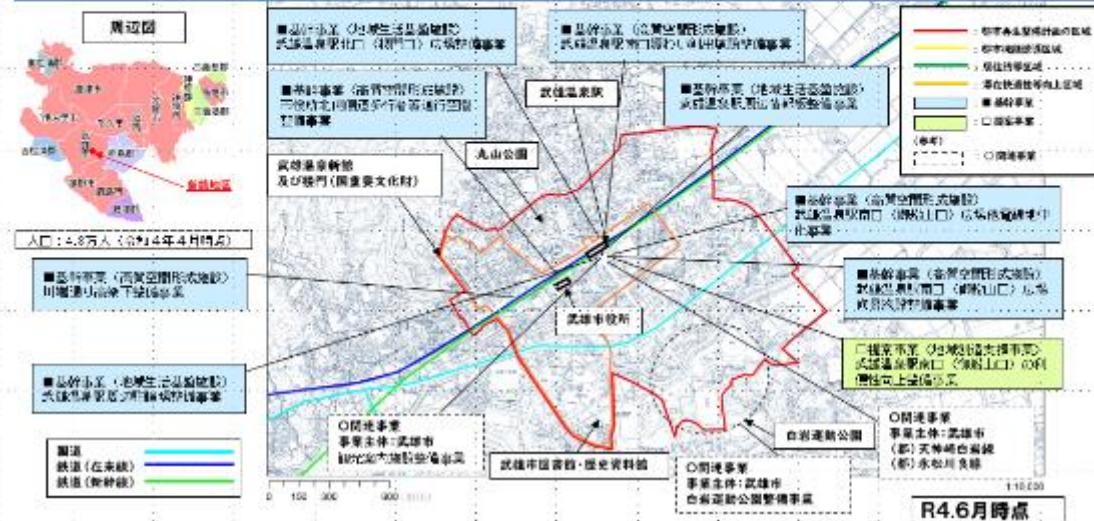


西九州新幹線の開通や博多までのアクセス改善による観光客の入込が期待

西九州新幹線の開通を控え、武雄市内の再開発が進行中

武雄市武雄温泉駅周辺地区 まちなかウォークラブル推進事業(佐賀県武雄市)

- ◆事業概要
 - 武雄温泉駅と周辺拠点エリアの連携を強化し、賑わいと交流のあるまちづくりを推進する。
 - 駅前広場の機能再編を行い、来訪者、駅利用者の交流を通じて駅周辺の賑わいと魅力の創出を図る。
 - 新駅における交通結節機能の充実及び周辺拠点エリアの各施設の連携を強化し、誰もが訪れ利用しやすく回遊性を創出する環境整備を図る。
- ◆面積：170ha 滞在快適性等向上区域面積 56ha ◆交付期間：令和3年度～令和5年度
- ◆全体事業費：709百万円 ◆交付対象事業費：709百万円(国費：308.4百万円) ◆国費率：43.4%



武雄温泉駅完成イメージ



武雄温泉駅には観光拠点を形成予定

(補足①)

武雄市の目玉観光エリアとして、保養村の経年開発が始まり、保養村の豊かな自然を生かしたイベントやアウトドアフィットネスの展開が予定されている。

保養村における自然環境を活かしたイベントやアウトドアフィットネスの開発が開始



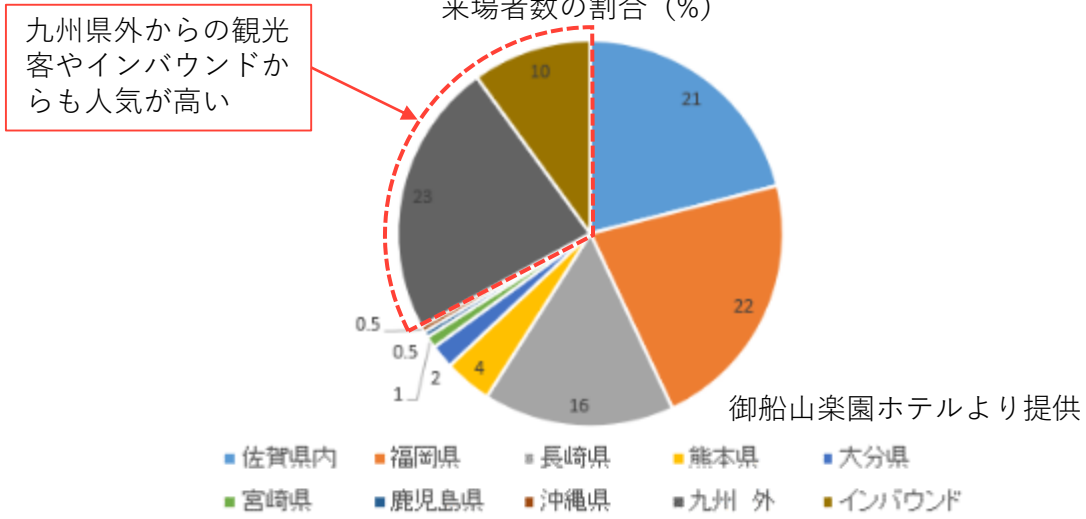
宇宙科学館との連携イベント
 日中は科学館でプラネタリウム、夜は広場で真夏の星空を眺める天体観望を楽しめるイベントを計画

オルレラン&アウトドアヨガ
 自然環境を活かしたアウトドアヨガイベントを計画

サウナイベント
 温泉のサウナ施設の設置や、保養村のサウナへの注力と併せてサウナイベントの開発を計画

(補足②)

武雄市随一の集客力を誇る、チームラボのアート展「かみさまがすまう森」は毎年アップグレードされるレギュラーイベントとして開催される。

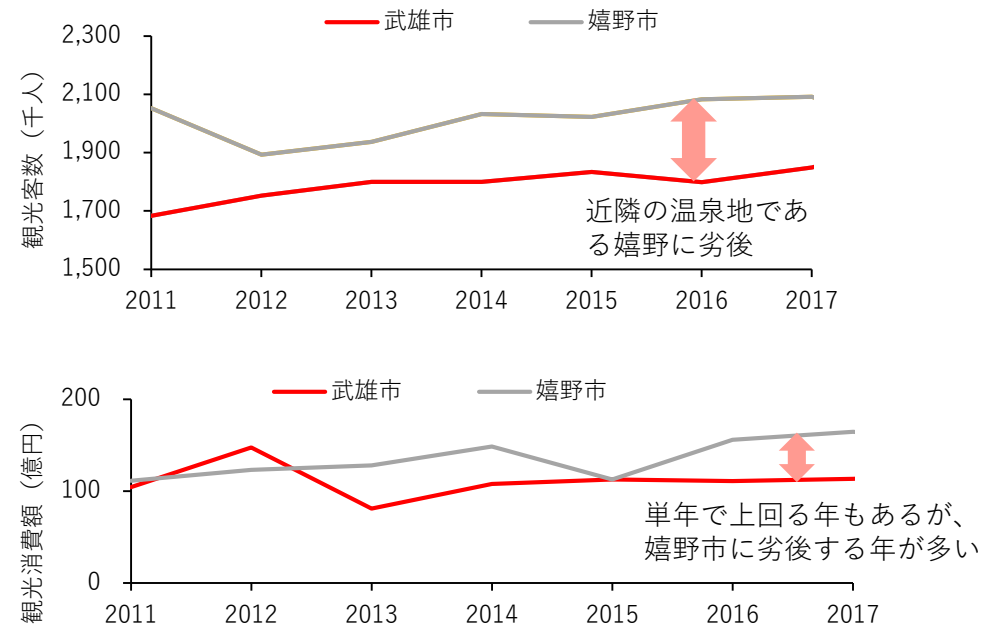


4. 弱み

弱み①	全国的に知名度が低く、近隣の温泉地に対し観光客・観光消費額がともに劣後
弱み②	温泉以外の滞在環境の整備が停滞

① 全国的に知名度が低く、近隣の温泉地に対し観光客・観光消費額がともに劣後

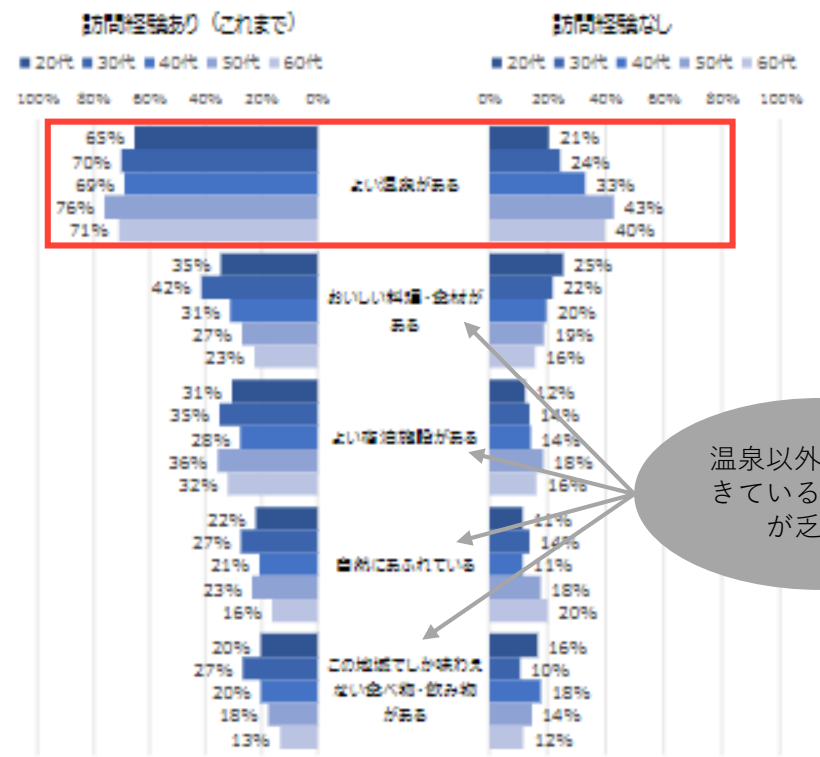
- **知名度が全国平均に対して低水準：**
知名度は50%で、全国平均に対して低い水準である。（JTB地域基礎データ）
- **温泉地としては近隣の嬉野市にも劣後：**
武雄市と同様に温泉地であり、近隣かつ西九州新幹線の開通区間内にある嬉野市に比して、観光客数・観光消費額はともに劣後している。



(引用) 両グラフとも佐賀県観光客動態調査を基に作成

② 温泉以外の滞在環境の整備が停滞

- **温泉以外の魅力訴求が不足：**
消費者には「良い温泉がある」というイメージを持つ割合が高い一方、その他の項に対してその他の項目については魅力を訴求できていない。
- **宿泊施設の老朽化が進行：**
コロナ後の旅行のニーズとして日常生活からの解放や新たな体験へのニーズが高まっている中、観光コンテンツの開拓に努めているものの、宿泊施設においては老朽化の進行や、個人旅行やインバウンド客への対応が停滞している。そのため、日中に市内の観光コンテンツを回遊しても、宿泊地は別地域に流出してしまう等の取り逃しが発生する懸念がある。



温泉以外に訴求できている観光資源が乏しい

5. 地域計画実施に向けての思い

- いで湯と陶芸のふるさととして観光業を発展させてきたが、地域全体としては施設の老朽化や観光のトレンドの変化に応じた施設の改修が進んでおらず、**今年9月の西九州新幹線の開業及び開業後を見据え、市では宿泊施設魅力向上支援事業補助制度を設けるなど対策を図ってきた。**しかしながら、コロナによる観光収入の減少や設備投資金額の負担が高いことから宿泊施設の魅力向上まではつながっていない現状である。本制度を活用し、**新たな観光スタイル（サウナ、部屋風呂等）を高付加価値として取り入れ地域一体となった観光を再生させたい。**

6. ビジョン

武雄市は、温泉と様々な滞在型コンテンツが充実したハイブリット温泉地となっている。そこでは、広域から従来の武雄温泉の客層とは違う感度の高い夫婦、カップルや少人数のグループが、温泉と様々なカルチャー（アート、食（オーガニック）、サウナ、アウトドアなど）を楽しんでいる。

- 新幹線西九州ルートの開業により、従来は北部九州エリア中心だった訪問者のエリアの幅が広がり、中国、関西、インバウンドなど広域のエリアからの集客が可能になっている。
- 歴史ある温泉地としての風情を保ちながら、武雄が開拓し続けた新たな観光コンテンツが融合し、次世代の温泉地としての地位を確立している。
- 温泉だけでなく、自然の中でアクティビティを体験することやサウナを通して癒しを得られ、「ととのう」街のテーマパークになっている。

7. コンセプト

温泉という地域の強みに、新しいコンテンツ（アート、サウナなどのカルチャー、ヘルシーな食の開発、アウトドア）を掛け算することで、感度の高い新規客の取り込みと、滞在型温泉地として低迷する宿泊率を向上させる。

- 武雄市がこれまで継続してきた観光コンテンツの開拓と、武雄市が持つ温泉地としての風情や自然との調和を図る。
- 歴史と風格のある温泉地としての良さを残しつつ、新たな体験や癒しを提供できる観光地へと進化する。

8. ターゲット

歴史と風格ある温泉地を求める夫婦・カップルに加え、武雄市の新たな観光コンテンツに関心を示す若年層の新規獲得を目指す：

- **既存のメイン顧客層である夫婦・カップル**
⇒ 宿泊環境の高付加価値化により、満足度を高める。
- **新たな価値観を有する20代などの若年層**
⇒ 武雄市の温泉の魅力と新たな観光コンテンツで、新たな体験や癒しを提供し、新規顧客の獲得を目指す。

武雄市ならではのといった観光の独自性の磨き上げ、地域の知名度・訴求力を向上させ、以下の目標を達成する（プランは次ページ参照）

	12億 円	13億 円（12.5%増）
観光客数		
	14.8%	17%（2.2%増）

10. 課題

課題①

温泉以外の魅力訴求が不足

- 観光客には温泉以外の魅力を訴求できていない
- 観光地としては全国平均に比して認知度が低い

課題②

宿泊環境の整備が停滞

- 観光コンテンツの開拓を進めている一方、宿泊環境の整備が停滞している

り、全国平均に比して低水準

解決策①

民間企業と連携した観光コンテンツの開拓・磨き上げの継続

- 観光施設やアウトドア、食等の開拓・磨き上げを継続する
- 民間企業との連携を今後も図ることで効果的なPRを実施する

解決策②

非日常感ある癒しを提供し、宿泊環境を高付加価値化

- 個人旅行やインバウンドのニーズに応えるだけでなく、フィンランド式サウナや部屋風呂等を整備する

歴史ある温泉地としての良さを残しつつ、新たな体験・癒しの場を提供する観光地へと進化

- 新たな体験や癒しを提供する温泉地として進化する
- 既存のメイン顧客層である夫婦・男女グループからの満足度が向上する
- 新幹線開通によるアクセス向上を梃子にした、新たな価値観を持つ20代等の若年層を獲得する

11. 計画実施にあたり懸念される外部の影響

- 燃料・原材料価格の高騰、人手不足により工期が延長等の懸念がある。
- 秋から冬は行楽、温泉のシーズンで集客が多いため、通常営業を行いながらの減収を最小に工事を進めたいため、工期延長等の懸念がある。

12. 参加者・役割

参加者	役割
武雄市	<ul style="list-style-type: none"> • 連携事業者・伴走支援チームとの窓口として地域の面的な再生に向けた地域計画の策定 • 地域のマネジメント
宿泊事業者	<ul style="list-style-type: none"> • 個別事業計画の策定
観光事業者	<ul style="list-style-type: none"> • 個別事業計画の策定
共施設の活用)	<ul style="list-style-type: none"> • 個別事業計画の策定
金融機関	